

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2024年4月5日
野村不動産ソリューションズ株式会社

リリースカテゴリ

仲介・CRE

野村不動産ソリューションズ 住宅地価 INDEX 2024年第1四半期

「住宅地価 INDEX」 2024年4月1日時点

～首都圏は15四半期連続の上昇、首都圏の上昇率は縮小も、東京区部・都下は高い上昇率を維持～
～関西圏は3四半期連続で上昇、京阪が下落に転じるも、大阪市内・南大阪で大幅な上昇が続く～

野村不動産ソリューションズ株式会社（本社：東京都新宿区/代表取締役社長：前田 研一）は、2024年4月1日時点の「住宅地価INDEX」の調査を実施いたしました。この度、調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

【2024年4月1日時点の調査結果】

野村不動産ソリューションズ 住宅地価 INDEX は、弊社独自の地価調査を指数化し、作成したものです。

<首都圏>

2024年1-3月期の首都圏の変動率は+0.6%で、上昇率は縮小したものの、東京区部・都下は高い上昇率を維持しています。上昇は、2020年第4四半期以降15期連続です。


首都圏のエリア別の平均変動率は、東京区部・東京都下・埼玉県が15期連続でプラス、千葉県は14期連続でプラスとなりました。東京区部では都心5区の千代田区・中央区・新宿区を中心とした価格上昇が続いています。東京都下では東京都心に近いエリアで価格が上昇し、上昇率が拡大しました。一方、埼玉県・千葉県では上昇率が縮小し、神奈川県ではほとんどの地点で横ばいとなっています。

<関西圏>

2024年1-3月期の関西圏の変動率は+1.2%で、3期連続で上昇しました。調査地点の動きをみると、上昇地点は減少、横ばい地点は増加しており、価格の天井感は高まりつつあります。

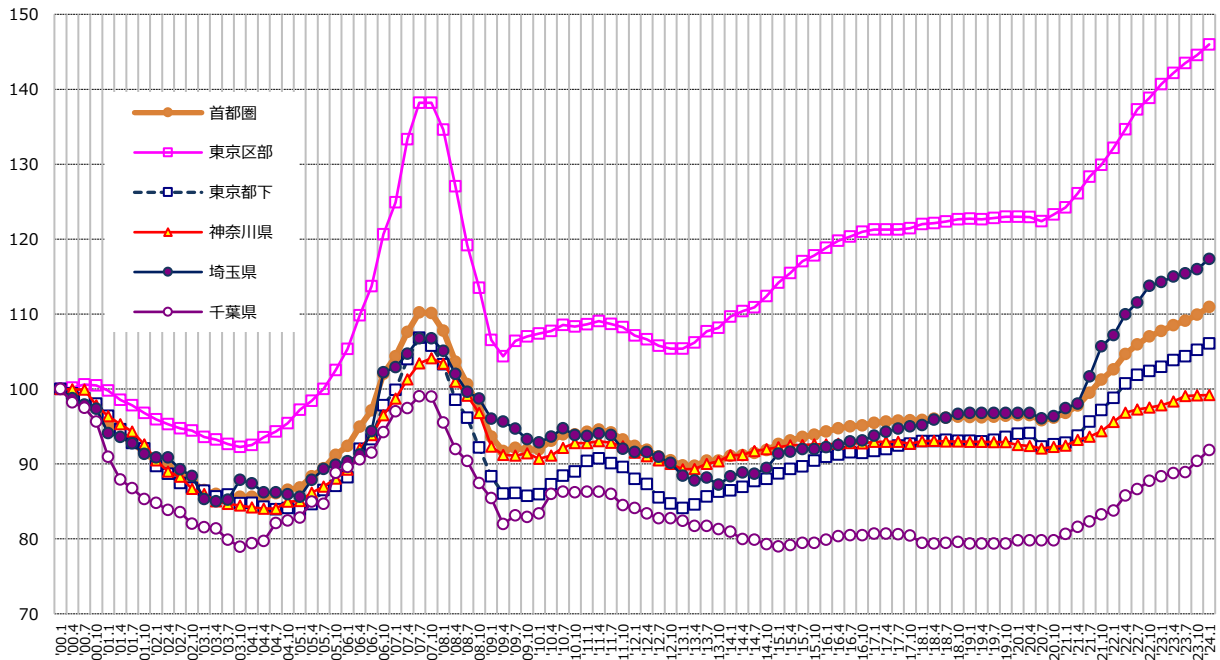
関西圏のエリア別の平均変動率は、大阪市内・北摂・南大阪・阪神間はプラスとなり、京阪はマイナスとなりました。また、京都は横ばいとなりました。大阪市内では上昇率が拡大し、2期連続で大きな上昇率となりました。南大阪エリアでは、大幅に上昇率が拡大しました。京阪エリアでは上昇地点がゼロとなりました。京都エリアでは全ての地点で横ばいとなり、北摂エリアはほとんどの地点で横ばいとなっています。

あしたを、つなぐ

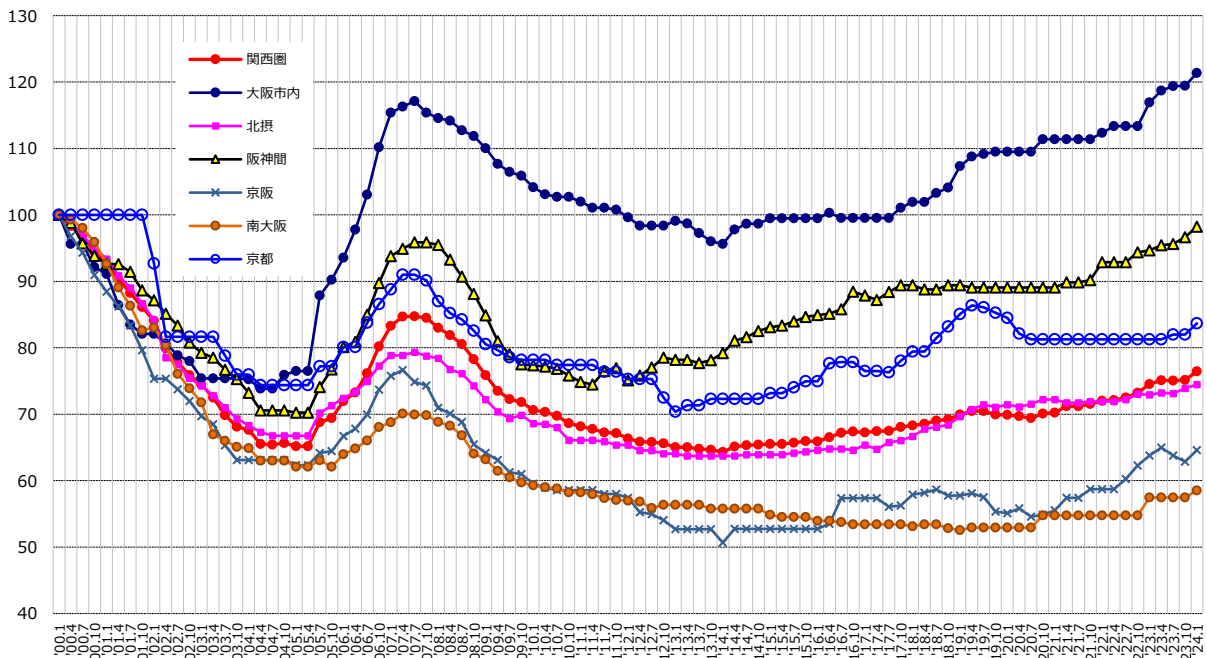
 野村不動産グループ

PRESS RELEASE

住宅地価INDEX（首都圏） 推移グラフ ※2000年1月を100



住宅地価 INDEX（関西圏） 推移グラフ ※2000年1月を100



あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

【本調査について】

- ・「住宅地価 INDEX」は、当社独自の地価調査を指数化し、作成したものです。1989年7月よりスタートし、各店舗の営業エリアにおいて調査地点を選択し、通常取引を想定して実勢価格を査定しています。また対象エリアは首都圏、関西圏、名古屋の住宅地および商業地で、236の調査地点を設定しています（首都圏住宅地の調査地点数は169、関西圏の住宅地の調査地点数は40）。
 - ・調査地点は限定されたエリアから抽出したものですので、数値は都県全体の変動率を表すものではありません。
 - ・調査は3ヶ月毎（1月、4月、7月、10月）に実施し、調査結果は、不動産情報サイト「ノムコム」上で公表しております。 <https://www.nomu.com/knowledge/chika/>
- ※名古屋の調査結果につきましても「ノムコム」上で公表しております。

中古マンションについては、当社が運営する不動産情報サイト「ノムコム」の「マンションデータPlus」にて、個別のマンションごとに推定相場価格や周辺エリアの相場情報を確認いただけますのでご参照ください。

「マンションデータ Plus」 <https://www.nomu.com/mansion/library/>

本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産ソリューションズ株式会社 経営企画部（田中・大淵）

TEL 03-3345-7779・FAX 03-3345-8273